

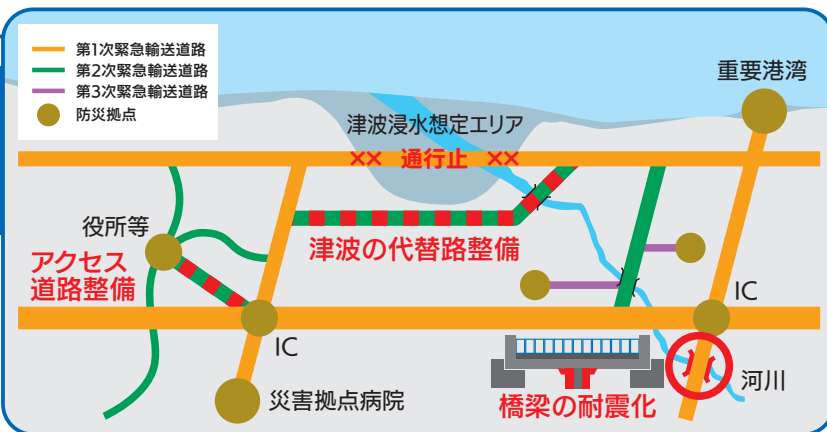
# 災害に強いみちづくり

## ー 復興みちづくりアクションプランに基づく緊急輸送道路の強化 ー

緊急輸送道路の強化により、災害時に防災拠点への緊急輸送が円滑に行われます

### ◆復興みちづくりアクションプラン

- ・橋梁の耐震化等により、安全で災害に強い道路ネットワークを確保します
- ・高速IC、災害拠点病院、役所等の防災拠点へのアクセスを強化します
- ・津波浸水が想定される緊急輸送道路の代替ルートを確認します
- ・被災しても早期に緊急輸送道路が機能する体制を整えます



### 復興予算を最大限活用して、緊急輸送道路を整備



老朽橋の架替を含むバイパス整備  
国道354号北浦バイパス（銚田市、行方市）



東日本大震災では津波襲来により  
国道6号が浸水（北茨城市）



国道6号の代替ルート整備  
里根神岡上線バイパス（北茨城市）

## 藤沢荒川沖線の開通により、つくばヘリポートへのアクセスが向上 関東・東北豪雨時に有効に機能



▲藤沢荒川沖線とつくばヘリポート

県道「藤沢荒川沖線」が2015年4月に開通したことで、常磐自動車道と直結する国道125号や研究学園都市の中心部からつくばヘリポートへの交通のアクセスが格段に向上。2015年9月に発生した関東・東北豪雨災害時には、航空機の燃料搬送を迅速に対応することができました。緊急消防援助隊航空部隊の活動拠点「つくばヘリポート」に集結していた近隣都市の防災ヘリコプターに速やかに給油。災害現場へ急行することができ、防災ヘリコプターで多くの人命を救助することができました。



県生活環境部防災・危機管理局  
消防安全課 防災航空室長  
飛田 剛利氏

交通アクセスが  
格段に向上